

平成27年度第1回志木市社会教育委員会議録

平成27年4月20日（月）

午後2時～3時30分

市役所4階第三委員会室

出席者 委員：齊藤奈都子、竹前榮二、有馬隆江、宮原正幸、安部卯内、
一ノ倉達也、小笠原順子、渡辺良一、星野久江
（順不同、敬称略）

市：生涯学習課 松井課長 井上主幹、武井主査

1 開 会 井上主幹

2 あいさつ 齊藤奈都子議長

3 協議事項

(1) 第三次志木市生涯学習推進計画 骨子案について

事務局より説明

第三次志木市生涯学習推進計画 骨子案について説明。

第二次志木市生涯学習推進計画が平成28年3月で終了となることから、第三次志木市生涯学習推進計画策定のため、市民アンケート調査を実施しその内容を次期計画の立案に取り入れる。

計画の骨子について、第1章「策定にあたって」では、生涯学習の背景にあるものとの整合性を図っていく。

第2章「生涯学習についての概況」では、市民アンケート調査を実施することで、市民ニーズをとらえている。

第3章「生涯学習推進の基本方針」では、生涯学習の現状を踏まえ、「①いつでも、どこでも、学べるまちづくり②学びをつなぐ、人をつなぐ③地域の文化を未来につなげる」の3つの基本方針ですすめていく。

第4章として生涯学習施策の展開では、第3章の基本方針に基づいてどういう施策を展開していったらよいか、皆さんの意見や今後行う市民アンケートの結果を踏まえて変わることになるが、現時点で考えてみますと、「1 いつでも、どこでも学べるまちづくり」（1）わかりやすい情報提供として、生涯学習情報のメール配信、グループ・サークル情報を充実、生涯学習情報スペース

の充実、ホームページなどの活用。パソコン等を使用しない人に配慮した情報提供を考えている。(2) 生涯にわたり学ぶことのできる環境づくり、さまざまな学習機会の提供、一つの案として市民公募企画講座では市民の皆様からこんな講座をやったらどうか、企画を募り、すぐにはできないが、翌年度の計画にいれ、前年度に予算化して翌年度に講座をすることが出来るようにすれば定例の講座を実施するよりも自由度が増すと考えて載せた。

また、今までの生涯学習になりますが、各社会教育施設の各種講座の展開では、今は事業名は書いておりませんが、各課の事業を掲載します。次に、教育委員会の事業だけでなく市長部局とも連携しさまざまな学習機会を展開した。市民活動推進課等とも連携して事業を考えていければ良いと思っている。また、それから高齢者の学習機会の充実、生涯学習相談の充実、これまであまりできなかったが、生涯学習相談を気軽に相談できるように積極的にPRを進める。

(3) 学習環境の充実については、これから、いろいろ調べて内容を検討していく。

2 「学びをつなぐ、人をつなぐ」では(1) 学んだことを生かしてまちづくり、学んだ成果を生かした活動をしたい方を支援する講座、ボランティア支援講座になりますが拡充していきたい。市民のサークルやグループが主催する事業への支援。それぞれの担当者だけでは、やりづらいというときには行政が支援するという事業展開を考えている。コーディネーター機能の充実、上記の生涯学習相談と似てきてしまうと思うが、学んだ成果を生かしたい人と協力してほしい人をつなげられるよう支援をする。学んだ成果を生かす場の充実として、市民文化祭・市展・芸能祭への参加の促進。参加したい層を広げることが出来るようなことを検討していけたらなと考えている。高齢者の活躍の場づくり市民協働による施設運営こちらは現在も行われていることですが引き続きつづけていければ良いと思う。他市長部局との連携(2) 学校、家庭、地域、NPO、民間団体など、さまざまに連携し、学びをつくる。現在こども大学ということで県、大学、青年会議所及び志木市の四者で合同で行っている事業ですが、いろいろな団体との連携の中で事業展開を図っていただければ良いと思っている。3 「地域の文化を未来につなげる」では、(1) 地域の文化の継承として、伝統芸能を次世代に継承する事業として、文化体験道場や郷土芸能フェスティバルを引き続き行っていけたらいいなと思う。(2) として文化財を活用したまちづくりでは、指定文化財を活用した事業。ここで今年度から田子山富士塚の修復工事が入りますので文化財を保存修復するというだけではなくていろいろ活用して生涯学習の事業を展開出来たら良いと考えております。

計画の章立てとしては、第5章計画の検証について、計画を立てて終わるのではなくて、そのあとどういうふうにしていったら良いかを取り込んでいた

らと思う。これが今の時点での骨子案です。

(議 長) 第三次志木市生涯学習推進計画 骨子案について説明がありました
が、意見のある委員はありますか。

(委 員) 「2学びをつなぐ、人をつなぐ」について、市民文化祭、市展、芸
能祭への参加の促進とあるが、市民文化祭、市展、芸能祭は市の方で
実行委員会に委託しており、その中でプログラムを組んでいるので、
現在参加している団体とうまく調整してすすめていただきたい。

(事務局) 具体的な内容までは、現時点ではつめていませんが、一つの可能性
として、実行委員会のご意見をいただきながら、幅広い年代が参加
できるようなことも考えていきたいと思っている。

(議 長) ほかになにかありますか。

(委 員) 異議なし。

(2) 第三次志木市生涯学習推進計画策定に向けての市民アンケート調査内
容について

事務局より説明

第三次志木市生涯学習推進計画策定に向けての市民アンケート調査内容
について説明。

この計画を策定するにあたりどのように生涯学習について考えられるか
どのように現在活動されているかということをお尋ねするためにアンケー
トを考えている。そのアンケートの項目の案を提案したいと思う。A3の
両面で考えており、質問内容について提言していただければと思う。

設問は初めの方は、答えてくださる方の属性についておたずねします。
次に、生涯学習をどのように捉えているか、どのような活動をしているか、
目的は何かなどを具体的におききします。

さらに、生涯学習をしやすくするために、どんなことが必要だとお考え
ですか。という設問を用意しました。

また、学んだことを生かす活動についても、取り組みやこれからの希望
についてお聞きする。ご意見いただけたらありがたい。

(議 長) 委員の皆さんで意見のある方はおりますか。

(委 員) 設問は、少し絞ったほうがいいのか、アンケートは目的を

しっかりしておかないと後でまとめるのが大変だと思う。

(委員) 生涯学習をやっている人のページと、生涯学習知らない、やっていない人のページを分けた方が、わかりやすいし、答えやすいと思う。

(委員) アンケートの中に志木市では生涯学習のためにこんなことやっているという情報をまとめて入れてはどうか。

(事務局) アンケートのお知らせの中には、趣旨は入れますが、情報まで入れるのは難しいかもしれません。

(委員) 遊学館で活動しているが、いつも利用がいっぱいであり、いまあるサークルに加入してもらうのが主になると思います。活動場所が定まらないと、なかなか活動が続けにくい。また、今の社会情勢だと思うんですけども本当に公民館を利用してる人は赤ちゃんを育てているお母さんと高齢者というか現役を引退している人が多い。いろいろな事を情報として聞いてみると公民館では役が付いてくるので煩わしい。個人的なところへ行って学んだ方が良いという若い人の感覚があるようです。

(議長) アンケートはいつ出す予定ですか。

(事務局) 5月の中旬に業者が決まり、5月下旬にアンケートを送付する予定、6月中に回答してもらい、7月8月9月で分析を予定しております。分析するにも時間がかかるので、時間的に厳しいものがあるので、ある程度計画を立てて、アンケートが戻ってきたらそれを加味して計画を変えていく方向で進めていきたいと考えている。

(委員) いろいろやっているが、それが生涯学習と認識できている人は少ないと思う。地域のサークルでやってますよと、いうのが生涯学習と分かるようなことをアンケートに入れてもいいと思う。

(事務局) アンケートお知らせ文の中にもそういうことがわかるような一文を入れるようにします。

(委員) 骨子案の方で、2番で学びをつなぐ、人をつなぐ。という内容の中で(2)子ども大学とか放課後子ども教室とあるんですが、公民館でやっている高齢者むけの大学は各館あるんですが、ここには入らないのでしょうか。

(事務局) 公民館事業については、生涯にわたり学ぶことのできる環境づくりさまざまな学習機会の提供、1番の(2)生涯にわたり学ぶことのできる環境づくりさまざまな学習機会の提供で、各社会教育施設の各種講座の展開の中で入れていきたいと思っております。

(議長) 他に何かございますか。

(委員) 異議なし。

(議 長) 他にないようですので、意見を反映していただきながら作成し、出していただきたい。

(3) その他
特になし

4 閉 会 齊藤議長